




2009年3月期 第2四半期決算説明会

2008年12月3日(水)

 **藤井産業株式会社**

JASDAQ コード：9906

セグメントの概要



電設資材

当社	+	子会社
電設資材		大島光電(株) (株)イーエムシー 弘電商事(株) 藤井通信(株)

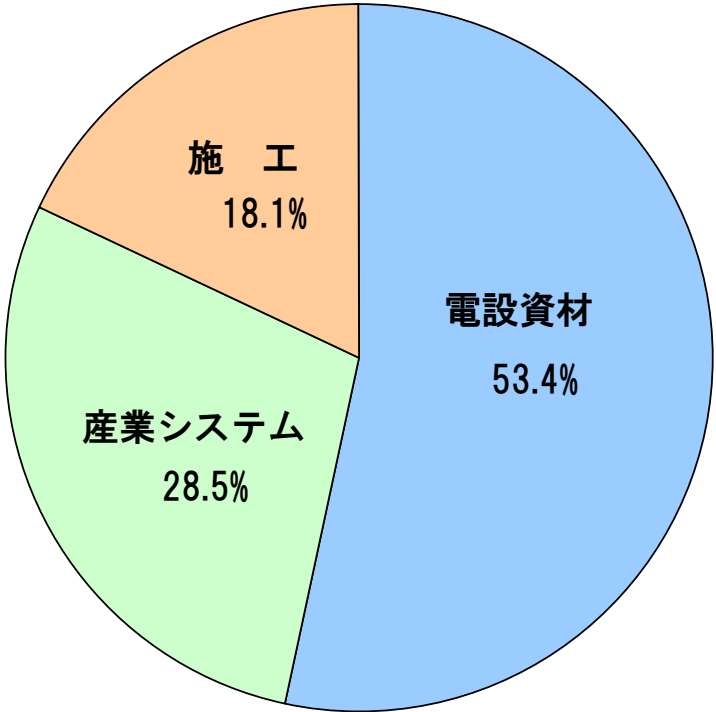
産業システム

当社	+	子会社
機器制御 設備システム 情報システム		コマツ栃木(株) 栃木リース(株) 非連結 栃木小松フォークリフト(株) 持分法適用会社

施 工

当社	+	子会社
建設資材 総合建築		藤和コンクリート圧送(株)

連結売上高構成比
(2009年3月期第2四半期)



第2四半期決算の概況

(単位：百万円)

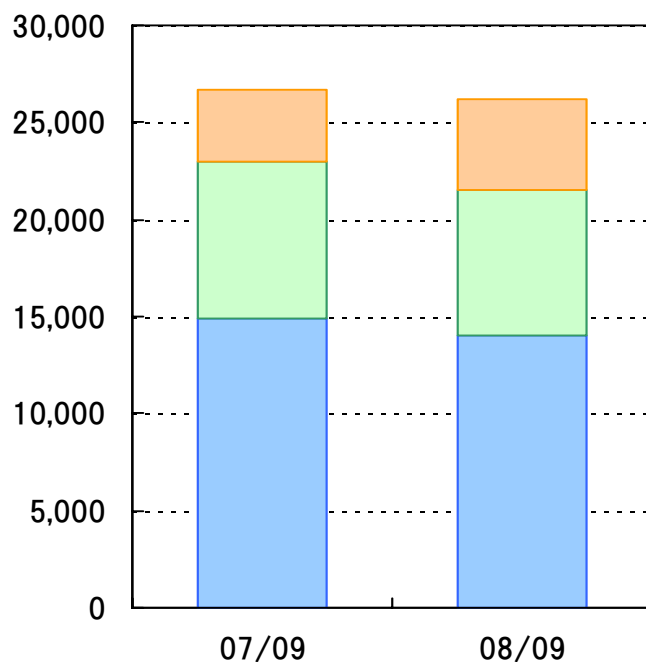
(連結)	2008/09	2007/09	増減	前年同期比
売上高	26,228	26,667	△439	△1.6
売上総利益	3,585	3,636	△51	△1.4
営業利益	338	462	△124	△26.8
経常利益	524	672	△148	△22.0
四半期純利益	254	254	—	+0.2

(単体)	2008/09	2007/09	増減	前年同期比
売上高	20,940	20,903	+37	+0.2
売上総利益	2,743	2,710	+33	+1.2
営業利益	288	354	△66	△18.8
経常利益	477	555	△78	△14.1
四半期純利益	257	163	+94	+56.9

事業セグメント別売上高



(単位：百万円)



	08/09	07/09
■ 電設資材	13,993	14,906
■ 産業システム	7,486	8,091
■ 施工	4,748	3,669

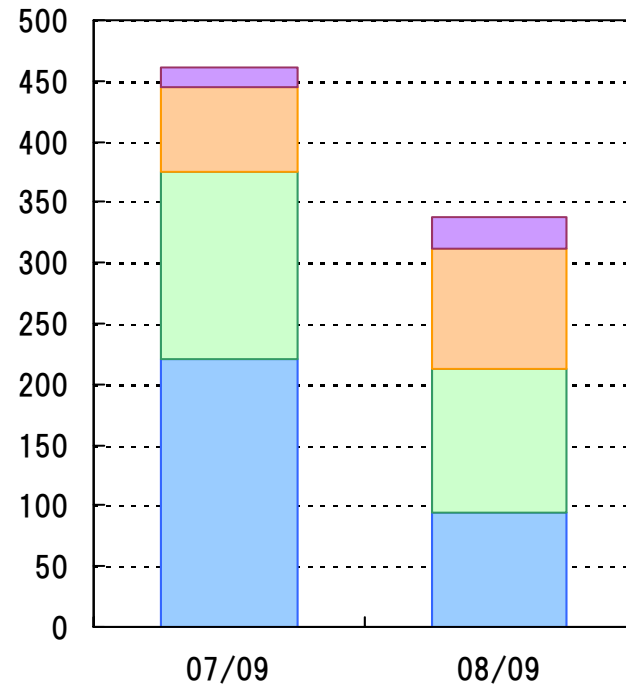
事業セグメント別の売上概況（前年同期比）

- **電設資材** $\Delta 913$ ($\Delta 6.1\%$)
 - 公共投資や設備投資の停滞から主要顧客の仕事量減少による売上減
- **産業システム** $\Delta 605$ ($\Delta 7.5\%$)
 - 機器制御 (+0.4%)
新規顧客の開拓や休眠顧客の掘起こしによる
(制御機器工業会による国内出荷高は、2008年上期 $\Delta 7.4\%$)
 - 情報システム (+8.2%)
文教・県立高校向けのPC更新需要の恩恵
 - 設備システム ($\Delta 34.3\%$)
主要顧客の設備投資先送りや発注延期
 - 土木建設機械 ($\Delta 16.7\%$)
建設業関連顧客の業績低迷から新車・中古車販売減少
更に、サービス(修理)も減少
- **施工** $+1,079$ ($+29.4\%$)
 - 建設資材 (+8.4%)
大手ゼネコン等からの受注は信用力の高まりにより好調
 - 総合建築 (+62.0%)
ヤマウチ、秋田精工の5億円超の竣工売上
 - コンクリート圧送 ($\Delta 0.4\%$)
前期比ほぼ横ばいの推移

事業セグメント別営業利益



(単位：百万円)



	07/09	08/09
■ 電設資材	220	94
■ 産業システム	155	118
■ 施工	70	100
■ その他	16	25

事業セグメント別の営業利益の概況（前年同期比）

■ 電設資材 $\Delta 126$ ($\Delta 57.0\%$)

■ 売上減少による売上総利益の落ち込みに加えて、人件費等の一般管理費及び販売費の増加

■ 産業システム $\Delta 37$ ($\Delta 24.2\%$)

■ 機器制御・情報システムの売上総利益は増加したが、設備システム及び土木建設機械の売上総利益は大きく減少

■ 施工 $+30$ ($+43.3\%$)

■ 建設資材、総合建築、コンクリート圧送のいずれの売上総利益も前期を上回った。

2009年3月期 業績見通し（連結）

（単位：百万円）

（連結）	2009年3月期 （見通し）	2008年3月期 実績	増減	前期比
売上高	57,000	57,903	△903	△1.6
売上総利益	7,370	7,668	△298	△3.9
営業利益	840	1,179	△339	△28.8
経常利益	1,170	1,575	△405	△25.7
四半期純利益	560	706	△146	△20.7

（単体）	2009年3月期 （見通し）	2008年3月期 実績	増減	前期比
売上高	45,300	45,835	△535	△1.2
売上総利益	5,580	5,717	△137	△2.4
営業利益	690	898	△208	△23.2
経常利益	1,000	1,239	△239	△19.4
四半期純利益	510	503	+7	+1.3

セグメント別連結売上高の業績見通し



(単位：百万円)

	2009年3月期 (見通し)	2008年3月期 実績	前期比
電設資材	29,970	30,359	△1.3
産業システム	16,980	17,101	△0.7
施 工	10,050	10,441	△3.7
合 計	57,000	57,903	△1.6

電設資材の売上高の業績見通し

(単位：百万円)

	2009年3月期 (見通し)	2008年3月期 実績	前期比
藤井産業	22,500	23,188	△3.0
連結子会社	7,945	8,234	△3.5
消去又は全社	△475	△1,062	—
合計	29,970	30,359	△1.3

〔連結子会社4社〕

大島光電(株)
 (株)イーエムシー
 弘電商事(株)
 藤井通信(株)

電設資材事業の取り組み

商圏の拡大

08年7月 東京都に墨田営業所開設（賃借）
 08年8月 (株)イーエムシーにて熊谷営業所開設（賃借）
 08年9月 下妻営業所の開設（賃借）
 08年11月 柏営業所の開設
 08年12月 太田支店移転

住宅市場の底上げ

電設事業開発部の新設による住宅市場開拓

大手サブコン開拓深掘り

墨田営業所から特定サブコンへの深掘り

環境商材・安心安全商材の拡販

オール電化商材・二重ガラス・住宅用火災警報器の拡販推進

産業システムの売上高の業績見通し

(単位：百万円)

	2009年3月期 (見通し)	2008年3月期 実績	前期比
機器制御	9,030	9,279	△2.7
情報システム	1,530	1,026	+49.0
設備システム	2,460	2,271	+8.3
土木建設機械	4,000	4,565	△12.4
消去又は全社	△40	△42	—
合計	16,980	17,101	△0.7

産業システム事業の取り組み

■機器制御

優良顧客の深掘りと新規開拓
安心安全商材（ライトカーテン等）の拡販推進

■情報システム

新市場（公益法人等）へのソリューションビジネスの展開
医療法人等へのネットワーク構築ビジネスの推進

■設備システム

民需開拓
保守メンテナンスの受注強化

■土木建設機械

鹿沼支店の新設（2009年2月予定）
（宇都宮西支店と日光営業所を統合して、鹿沼支店に集約）
サービス事業の粗利益率改善
（定価制の推進）
中古車の拡販

施工の売上高の業績見通し

(単位：百万円)

	2009年3月期 (見通し)	2008年3月期 実績	前期比
建設資材	4,980	4,458	+11.7
総合建築	4,800	5,610	△14.4
コンクリート圧送	403	428	△5.9
消去又は全社	△133	△55	—
合計	10,050	10,441	△3.7

施工事業の取り組み

■建設資材

リフォーム事業（外壁改修等）の取り組み強化
（受注実績9件）
環境商材（太陽光発電・屋上緑化等）の取り組み強化

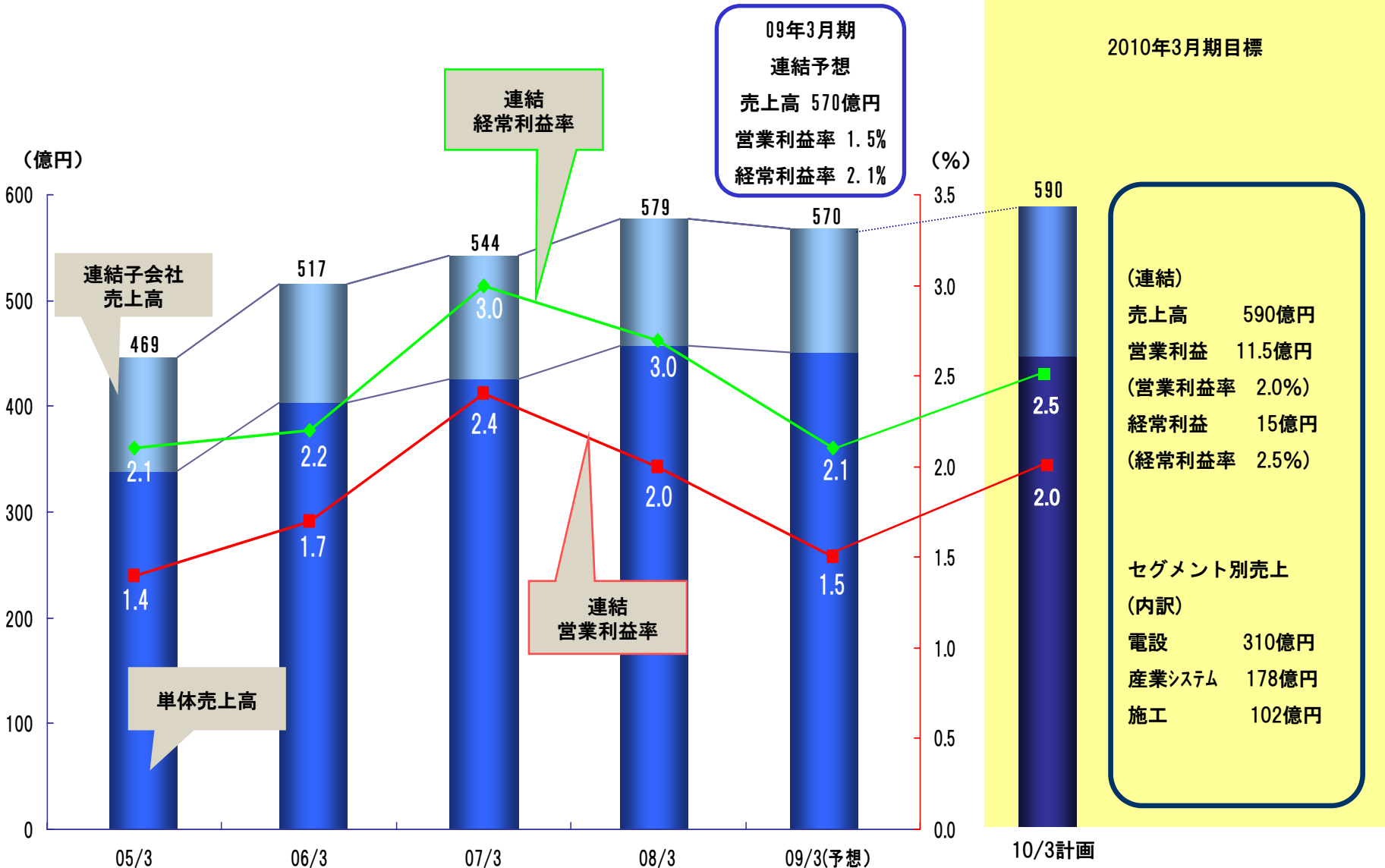
■総合建築

新日鉄とのパートナー連携強化
受注獲得

■コンクリート圧送

受注単価の改善

業績の推移と2010年3月期目標



2010年3月期目標

連結ベース

	08/3月期	09/3月期 予想	目標値 (10/3月期)
売上高	579億円	570億円	590億円
営業利益	11.7億円	8.4億円	11.5億
営業利益率	2.0%	1.5%	2.0%
経常利益	15.7億円	11.7億円	15億円
経常利益率	2.7%	2.1%	2.5%

目標値内訳（売上高） 2010年3月期

電設	310億円
産業システム	178億円
施工	102億円

合計 590億円

営業利益率 2.0%

中期経営課題



首都圏エリアへの拡大

M & Aの推進

新エネルギー・新ビジネスの確立と提案活動強化

太陽光発電システム・ESCO事業・あかり安心サービス
環境商材、安全・安心の提案活動

高度情報の活用と人事制度の革新

e-Market Fujii の推進
営業支援システムの推進
目標管理制度を軸とした成果能力主義への取組み・人材開発育成強化

株主還元等



(単位：円)

	一株当たり 配当金	一株当たり当期純利益		配当性向	
		単体	連結	単体	連結
05/3月期	10.00	27.58	45.00	36.26 %	22.22 %
06/3月期	10.00	35.11	48.11	28.48 %	20.79 %
07/3月期	15.00	76.41	81.89	19.63 %	18.32 %
08/3月期	14.00	50.97	71.52	27.47 %	19.57 %
09/3月期 (予定)	12.00	52.17	57.29	23.00 %	20.95 %

※05/3月期の一株当たり配当金には記念配当2円が含まれております。

※07/3月期の一株あたり配当金には特別配当3円が含まれております。



本資料に記載の予想数値は、平成20年12月3日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る平成20年12月3日現在における仮定を前提としております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行うようお願い致します。

本資料に関するお問い合わせ

 **藤井産業株式会社**

経営企画部

TEL : 028-662-6018

FAX : 028-662-6428

E-Mail : IR@hh.fujii.co.jp